



山田光春 議員

城上橋と大塚36号線は3月には開通！

問 城上橋の上部工と大塚36号線との段差が20cmあり、これが原因で整備できず未だ完成できず住民に迷惑をかけている。①段差20cmは設計ミスなのか。②段差を解消することで村に出入りする傾斜はどのぐらいになるのか。③バス停・歩道・柏手池公園の整備はどうなるのか等整備の進行状況と地元住民に納得する説明をされているのかを聞く。

平岡町長 段差20cmですが、現状を見ますと歩道の高さや西側町道の取り合いの判断が十分でなかったように考えられるので段差解消のための工事区間を城上宮橋北から大塚池区間の県道を舗装修正しながら、柏手池部分の植栽・歩道等の現状復旧のための整備をすると県から説明を受けている。



工事中の城上橋

社会福祉協議会の地域福祉事業の充実に財源確保を提案！

問 提案するのは「地区の伝承行事を通して世代間交流」「地域住民がふれあい助け合いの心を育む交流事業」など地域に暮らす住民の方が、普段の暮らしの幸せのために自主的に取り組む事業等をやるべきだ。それには財源が必要だ。そこで住民の皆さんや法人・事業所に社協会員になっていただいて、住民は1戸1,000円、賛助会費は社協活動に理解をいただける方は1口2,000円、特別会費は社協活動に理解をいただける法人・事業所は1口5,000円を募って事業を推進するために協力してもらうことが将来の活動に必要と考える。

平岡町長 新しい体制で社会福祉協議会が取り組む事務事業について協議いただく中で、貴重なご提案としてお伺いしておく。

○その他の事項

- ・放課後子ども育成教室の安全基準は
- ・中学校給食実施に向けて、文化財保存センター建設の予算計上について
- ・社会福祉協議会改革について



山村美咲子 議員

災害対策に女性の声を！

問 10月に、公明党女性防災会議として「女性の視点からの防災行政総点検」を実施した結果、防災行政の現場で女性の意見が反映されていない実態が浮き彫りになりました。広陵町においても、女性の視点からの防災対策マニュアルの策定など早急な対応を求めます。



理事者 本町の防災対策に女性の参画を図りながら、充実させていく。防災会議に女性の登用も必要と認識している。備蓄物資・食糧も女性の意見も聞きながら、選定していきたい。

期日前投票の手続きの簡素化を！

問 期日前投票のときに記入する宣誓書を、入場券の裏側に印刷してはどうか。高齢者・障がい者またその

場での記入に戸惑う方々も、自宅で宣誓書に記入し、それを持参することでリラックスして投票を行うことができる。事務手続きも簡素化、事務費用も低減され、投票率のアップにもつながるのでは。

平岡町長 議員から提案の宣誓書の手続きについては、期日前投票される選挙人だけに限られた手続きであり、有権者に誤解を招くことにつながりかねないため、慎重な対応が必要と判断する。

「読む」ことが困難な子ども達に「マルチメディア教材」を！

問 教科書バリアフリー法の施行を機に、(財)日本障害者リハビリテーション協会がテキスト文字に音声シンクロさせて読むことを可能にした「デイジー教科書」の提供を始めた。発達障害など「読む」ことが困難な子ども達に活用され、学習理解が向上したとの効果表明もある。必要な子ども達に対応してはどうか。

安田教育長 デイジーはITを活用して、一人一人のニーズに合った「読み」のスタイルを可能にするデジタル図書とするシステムと認識。有効と考えられる児童の学力向上のため保護者・学校とも相談しながら、利用を検討する。